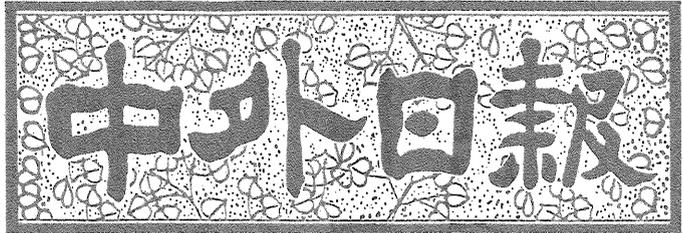


発行所
株式会社 中外日報社
©中外日報社2012

京都總本社 〒601-8004 東京本社 〒113-0033
京都市南区東九条東山王町9 東京都文京区本郷4-9-13
電話 (075)671-3211(代) 電話 (03)3816-4721(代)
FAX (075)671-2140 FAX (03)3811-5222

http://www.chugainippoh.co.jp
Eメールhenshu@chugainippoh.co.jp



中外日報 素反

震度7でも転倒防止

震度7クラスの地震で「震度7でも転倒防止マット」は、固体と液体の性質を持つ。不純物や有害物質を含まず安製品、小物類の底にマットを貼るだけで転倒を防止。プロセブン(株)が開発した「プロセブン耐震マット」が、驚異の粘着マットとして注目され、性・公平性を期して第三者機関に委託し物性を評価している。耐震性を確認するため平成17年に国内初の「地震実験車」を導入。各地に移動して震度5〜7の揺れを再現、耐震マットの有無を比較。高分子化合物の特性として、強い粘着力と柔軟性で、強い揺れに耐えるだけ着性があでなく、振動や伝達防止り、同時に(防震・緩衝・防音)にゆっくりに剥がれる。アート引越センターは新サービスとして導入している。また美術館の陶磁器や置物、寺院の仏像・仏具などの転倒を防ぐため開発した美術品専用シリコンマットは、鹿児島県指宿市の美術品展示施設「薩摩伝承館」で採用されている。



注目され、性・公平性を期して第三者機関に委託し物性を評価している。耐震性を確認するため平成17年に国内初の「地震実験車」を導入。各地に移動して震度5〜7の揺れを再現、耐震マットの有無を比較。高分子化合物の特性として、強い粘着力と柔軟性で、強い揺れに耐えるだけ着性があでなく、振動や伝達防止り、同時に(防震・緩衝・防音)にゆっくりに剥がれる。アート引越センターは新サービスとして導入している。また美術館の陶磁器や置物、寺院の仏像・仏具などの転倒を防ぐため開発した美術品専用シリコンマットは、鹿児島県指宿市の美術品展示施設「薩摩伝承館」で採用されている。

「プロセブン(株) 耐震マット開発

仏像・仏具や陶磁器にも

陶磁器や置物、寺院の仏像・仏具などの転倒を防ぐため開発した美術品専用シリコンマットは、鹿児島県指宿市の美術品展示施設「薩摩伝承館」で採用されている。

小玉誠三社長は、阪神・淡路大震災で友人を亡くしたのを機に私財をなげうち、全精力を耐震粘着マットの開発に注いできた。「いのちの大切さが原点。何か社会の役に立てば」と話している。

写真は4枚入りのプロセブン耐震マット3点。同社は本社(大阪市天王寺区清水谷町3の19)、電話06(61991)3810。